

平成23年度三重県公共事業事後評価箇所一覧表(県事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町名	全体事業概要と目的	採択年度	完了年度		事業の効果	事業の環境面への配慮及び事業による環境の変化	事業を巡る社会経済情勢等の変化	県民の意見	今後の課題
						当初	当初					
						最終	最終					
海岸	503	小山浦地区海岸	紀北町	【全体事業概要】 離岸堤 L=220m(1基)	H11	H18	1,540	海岸整備前は、高波浪時に越波による被害が度々生じていたが、平成18年度の事業完了後、多数の台風が上陸ないし接近したものの、当海岸では海岸保全施設及び背後の施設等に被害は発生せず、防護機能を発揮することができた。  ・当海岸は離岸堤による面的防護方式で越波対策を行っており、離岸堤整備による汀線の維持やそれに伴う植生等の自然環境の保全が図られている。  ・当海岸に近接する河川も含めた海域の水質について離岸堤整備前後の比較を行ったところ、離岸堤整備による明確な傾向の変化はみられず、当事業の実施により周辺環境に大きな負荷を与えなかったものと考えられる。	・地区の人口は減少しているものの、海岸背後には依然として人家が密集しており、防護の必要性は依然として高い。	・平成23年9月 小山浦地区周辺の住民(150世帯)に対してアンケートを実施。  ・安全面に関する満足度 「満足」+「どちらかといえば満足」58%、 「不満」+「どちらかといえば不満」27%  ・環境面や景観面に関する満足度 「満足」+「どちらかといえば満足」47%、 「不満」+「どちらかといえば不満」22%  ・利用面に対する満足度 「満足」+「どちらかといえば満足」49%、 「不満」+「どちらかといえば不満」19%  ・総合的な満足度 「満足」+「どちらかといえば満足」49%、 「不満」+「どちらかといえば不満」35%	課題・問題点 ・周辺住民の方々からはアンケートの自由回答欄において当該事業及び小山浦地区海岸の現状に対して具体的に不満な点が何点か記載されている。具体的には堤防の老朽化対策、大規模な津波に対する不安、離岸堤延伸(補強)によるさらなる安全性の確保などの意見があった。  今後の留意事項 ・今後の海岸事業の課題としては、施設の老朽化対策、大規模な津波対策、施設機能の確保の3点が挙げられる。老朽化に対しては現在実施している健全度評価の結果に基づく対策工の実施を、大規模な津波に対しては人的被害の軽減を図る減災対策を、施設機能の確保には適切な維持管理の実施を、それぞれ行っていく必要がある。	
				異常気象時の高潮・波浪等から海岸背後地の生命・財産を守る。								H18

平成23年度三重県公共事業事後評価箇所一覧表(県事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町名	全体事業概要と目的	採択年度	完了年度		事業の効果	事業の環境面への配慮及び事業による環境の変化	事業を巡る社会経済情勢等の変化	県民の意見	今後の課題
						当初	当初					
						最終	最終					
街路事業	505	都市計画道路 富田山城線	四日市市	【全体事業内容】 延長 L=1.56km 幅員 W=30.0m	H10	H18	9,548	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 費用便益比 ・B/C=1.8</li> <li>■ その他の効果 ・四日市東ICから、四日市港霞埠頭方面へのピーク時の移動時間が短縮された。</li> <li>・国道1号との交差点を立体化したことで、富田山城線及び国道1号の渋滞が緩和された。</li> <li>・富田山城線沿線で新たな店舗の立地が見受けられるようになった。また、周辺において、宅地造成や工業団地の開発が行われた。</li> <li>・富田山城線の高架化により、渋滞が緩和され防災機能が強化された。</li> <li>・歩道設置により、歩行者の安全性が向上した。またインターロッキングブロック、街路樹の設置により沿道景観が向上した。</li> </ul>	低騒音の機械、排出ガスの少ない機械の利用。舗装にリサイクル材を使用し、建設資材のリサイクル化に配慮した。	対象路線周辺での道路事業が進められている。 関連事業 環状1号線(事業中／一部供用済)、北勢バイパス(事業中／一部供用済) 対象地域周辺では、土地開発が行われてきた。また周辺の地価の下落率も供用後は改善されている。	沿道の住民を対象にアンケートを実施し1,585名の方から回答を得た。 総合的な評価としては約81%が『満足』との意見を頂いている。	街路事業は、市民生活や経済活動等に伴う交通の円滑化を図るのみでなく、沿道の市街地化を誘導する機能を併せ持つなど、重要な役割を担っているため、計画的な整備を推進していきたいと考えています。
				【事業目的】 国道1号を立体交差化し、既に2車線で立体交差となっているJR線、近鉄線の高架部分を含めた全線4車線化を行い、円滑な都市交通の確保を図ることを目的とする。								

平成23年度三重県公共事業事後評価箇所一覧表(県事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町名	全体事業概要と目的	採択年度	完了年度		事業の効果	事業の環境面への配慮及び事業による環境の変化	事業を巡る社会経済情勢等の変化	県民の意見	今後の課題
						当初	当初					
						最終	最終					
街路事業	506	都市計画道路 駅前高塚線外1線	亀山市	<p>【全体事業内容】</p> <p>延長 L=743m 幅員 W=14.0m</p>	H16	H16	2,042	<p>■ 費用便益比 ・B/C=1.5</p> <p>■ その他の効果 ・車道の拡幅により走行性が向上し、亀山駅や亀山市役所の位置する亀山市中心部と、二次救急医療施設の市立医療センターや幹線道路の国道1号亀山バイパスへのアクセス性が向上した。</p> <p>・当該路線は、亀山市のコミュニティバスが5路線運行しており、車道の拡幅により走行環境が改善され、バスの走行性が向上した。</p> <p>・当該路線沿線には、小中学校や市役所が位置しており、両側に歩道が整備されたことで、歩行者の安全性が確保された。</p>	路盤材や側溝等によりサイクル材を使用し、建設資材のリサイクル推進に努めた。植樹により、良好な環境を形成した。	本事業周辺の地価は、平成19年度の事業完了後の平成20年度には、三重県や亀山市全体の地価減少率よりも低い傾向となっており、事業周辺の地価の減少が抑えられている。	地域の住民の方に当該路線に関する意見を得るためにアンケートを実施し767名の方から回答を得た。総合的な評価では、約72%が『満足』との意見を頂いている。	街路事業は都市内において実施する道路の改築事業であり、市民生活や経済活動等に伴う交通の円滑化を図るのみではなく、災害時等の緊急輸送道路としての機能強化、都市の基盤として「まちづくり」に大きく寄与する重要な役割を担っている。
	507											